

薬剤耐性(AMR)に関する小委員会、抗微生物薬適正使用(AMS)等に関する
作業部会でのサーベイランスに関する主なご意見

1. ワンヘルスについて

- サーベイランスは医療・介護・農林水産等の分野で連携して行うべき。
- 環境における薬剤耐性等についてのサーベイランスはきちんとしたものがなく、その議論もして頂きたい。

2. サーベイランスの対象となるデータ、評価方法について

- 抗菌薬の処方量・使用量、耐性菌の割合など、何をサーベイランスし、どう評価するかを議論することが大事。
- 抗菌薬の使用量を評価することが大事。
- 評価方法は、抗菌薬適正使用の手引きが出た後で統一すべき。

3. 還元方法について

- 医療関係者が、自分の医療機関のデータと日本全体のデータを比較できるようになれば、AMRの現状は改善されていくと思う。

4. 患者の健康について

- 抗菌薬の使用量を減らすことも大事だが、最終的に患者の健康につながることを大事。
- 抗菌薬の使用量を減らすことで有害事象が増える可能性がある。市中肺炎や髄膜炎の増減を見ていくのが重要だと思う。